

# デートDVって、知っていますか？

被害者にも加害者にもならないために

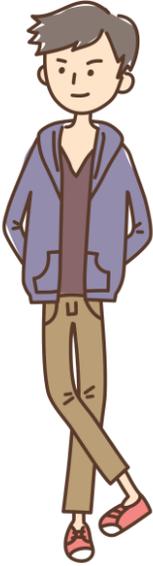
今、交際していない人は、誰かと交際する日が来たときのために・・・

今、交際している人は、自分と相手とのことをもう一度考えてほしい・・・



## デートDV(ドメスティック・バイオレンス)とは？

配偶者や交際相手からの暴力をDV(ドメスティック・バイオレンス)といいます。このうち、主に10代から20代の若者間で起こる交際相手からの暴力のことをデートDVと呼んでいます。



## デートDVはどの位の人が被害を受けているの？

内閣府の「男女間における暴力に関する調査」(令和5年度)によると、「交際相手がいた(いる)」という人のうち、交際相手から、「身体的暴行」「心理的攻撃」「経済的圧迫」「性的強要」のいずれかの被害を受けたことがあったと答えた人は、女性 22.7%、男性 12.0%となっています。

あなたは、被害者かも？

交際相手の態度をチェックしてみよう。

- いつ誰と会っているか等、メール・SNS等で常に行動を報告させる。
- 携帯電話の着信履歴やメール・SNS等をチェックして、異性のアドレスやメール等を消すように言ったり、勝手に消したりする。
- 友達や家族との交流も制限する。
- あなたの意見を聞かずに自分だけで勝手に物事を決め、それに従わないと不機嫌になる。
- あなたに対して「バカ」「ウザイ」などと傷つくようなことを言ったり、髪型や服装などをけなす。
- 二人が喧嘩したとき、いつもあなたのせいだと言って責める。



- 何か問題が起こると、あなたのせいにする。
- 人に見られたくない写真を撮り、言うことを聞かないとインターネットで公開すると言う。
- 無理やり性的な行為をする。
- 避妊に協力しない。
- いつもおごらされる。
- お金や高価なプレゼントを要求する。
- お金を借りても返さない。



## 交際相手と一緒にいる時の 自分の気持ちをチェックしてみよう。

- いつも、気を使って相手の好みに合わせるようにふるまっている。
- 相手が怒るのは自分に悪いところがあるからだと思う。
- 我慢することが多い。
- びくびくしたり、怖いと思う。
- 言いたいことが言えない。

気づかぬうちに加害者になっているかも・・・

逆に、自分が暴力的な態度になっていないか、性格や考え方をチェックしよう。

- 相手の行動を把握していないと落ち着かない。
- 相手が電話に出なかったり、メール・SNS等の返信がすぐに来なかったら、怒りが生じる。
- 自分の予定と相手の予定が合わないと、不機嫌になってしまう。
- 相手が自分の意見に従わないとイライラしてしまう。
- 相手が悪いのだから、多少の暴力は仕方が無いことだと思っている。

チェックがひとつでもあれば、あなたは  
被害者かも？ いや、加害者かも？ しません。



デートDVは  
どのようなものがあるの？

### 《身体的暴力》

- 殴る
- 蹴る
- 突き飛ばす
- 髪をひっぱる
- 首をしめる
- 物を投げつける など

### 《精神的暴力》

- 怒鳴る
- 無視する
- 暴言を吐く
- すぐに電話やメール・LINE等やSNSの返信をしないと怒る
- 携帯電話の着信履歴やアドレス、メール・LINE等のチェックをする

### 《性的暴力》

- 無理やり性的な行為をする
- 嫌がっているのに、ビデオ・DVD・雑誌・インターネット等によって、わいせつな映像(画像や動画)を無理やり見せる など

### 《経済的暴力》

- 借りたお金を返さない
- デート代をいつも払わせるなど、無理やりお金を出させる
- 金銭をねだる など



なぜデートDVは  
起るの？

### 《暴力による支配の容認》

- 愛情があれば、相手が間違っているときに暴力をふるっても仕方ない
- 交際していれば多少の暴力は仕方ない
- 暴力は愛情を示すためのひとつの方法である

これらは、力で自分の考えを相手に押しつけて支配するという考え方です。暴力による支配は人権侵害であり、犯罪となる行為をも含んでいます。

### 《交際することについての誤った認識》

- 交際していれば相手はわたしだけのものである
- 束縛されているのは、愛されている証拠だと思う
- たとえ嫌だと感じることがあっても、相手のことを受け入れるのが愛だと思う

これらは、交際することについての誤った考え方からくるものです。

### 《「男らしさ」「女らしさ」という性別意識》

- 男性は女性を守るべき
- 男性は外で働き、女性は家庭を守るべき
- 男性が女性をリードし、女性は男性に従うものである
- 男性は強くたくましく、女性はおしとやかに

これらは、性別に対する誤った考え方に基づくものです。



お互いがよりよい  
関係をつくるには…

### 《暴力を認めない》

どんな事情があったとしても、暴力をふるっていいという理由にはなりません。暴力によらない解決方法があるはずです。暴力は、身体的なものに限らず、精神的なものや性的なものもあります。どのような暴力であったとしても、暴力をふるうことは決して許されるものではないのです。

### 《自分のことを大切にす》

人はみんな生まれながらにして、一人一人大切にされるべき存在です。暴力をふるわれてもいい人など一人もいません。でも、自分を大切にす気持ちを持っていないと、暴力をふるわれたとき、相手に対してはっきりと「NO」の意思表示をすることが難しくなります。あなたは、自分のことは自分で決めることができるのです。嫌なことには「NO」と言うことができるのです。自分の気持ち、自分の体を大切にす気持ちを持ちましょう。

### 《相手のことも大切にす》

自分のことを大切にす気持ちと同じように、相手への思いやりの心、相手を大切にす心を常に持つことも大事です。相手の話に耳を傾けましょう。自分の意見や考えを相手に押しつけず、相手が自分と異なる意見や考えを持っていたとしても、まずはそういった違いがあるということ認め、受け入れましょう。そして、自分はどう思うのか、相手に言葉で伝えましょう。

# デートDVの被害に気づいた時…

## 《あなたが悩んでいたら》

どんな理由であれ、暴力は許されるものではなく、暴力をふるう方に問題があり、あなたが悪いではありません。

一人で何とかしようとしたり、我慢したりしないで、家族、先生、友達など、相談しやすい誰かに話してみましょ。専門の相談機関もあり、相談内容の秘密は固く守られます。

## 《友達が悩んでいたら》

友達の気持ちを聴いて、そのまま受け止めてください。デートDVを受けている友達には、あなたの心配している気持ちを伝えましょ。

「あなたは悪くない」「いつでも力になるよ」「どんな理由があっても暴力を許してはいけない」と伝えてください。そして、家族、先生など、相談しやすい大人や専門の相談機関へ相談するように話してみましょ。



命の危険を感じたら  
迷わず110番に  
連絡してください。

### 市内の相談機関

広島市配偶者暴力相談支援センター	TEL 082-504-2412	月～金(祝日・8月6日・年末年始を除く) 10:00～17:00
広島市配偶者暴力相談支援センター 休日DV電話相談	TEL 082-252-5578	土・日・祝日・8月6日(年末年始を除く) 10:00～17:00
みんなの人権110番 (広島法務局人権擁護部)	TEL 0570-003-110	月～金(休日等を除く) 8:30～17:15
エソール広島相談事業	TEL 082-247-1120	月～土(水・休日等を除く) 10:00～16:00
広島県西部子ども家庭センター (女性相談支援センター/配偶者暴力相談支援センター)	TEL 082-254-0391	月～金(休日等を除く) 8:30～17:00
各警察署 または 警察本部	広島中央署	TEL 082-224-0110
	広島南署	TEL 082-255-0110
	広島東署	TEL 082-506-0110
	広島西署	TEL 082-279-0110
	安佐南署	TEL 082-874-0110
	安佐北署	TEL 082-812-0110
	佐伯署	TEL 082-922-0110
	海田署	TEL 082-820-0110
警察本部	TEL 082-228-0110	

※休日等とは、祝日、年末年始などです。



「女性に対する暴力をなくす運動」を毎年11月12日から11月25日に実施しています。  
パープルリボンは、「女性に対する暴力をなくす運動」のシンボルマークです。